

十二指腸腫瘍内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の縫縮/被覆法の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2014 年 4 月～2019 年 8 月に、当院で表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対し内視鏡的粘膜下層剥離術を受けた方

2. 研究目的・方法

すでに得られている診療録の情報から、内視鏡治療の際の 4 つの縫縮/被覆法の方法の違いを探索的に検討いたします。研究実施期間は、施設院長承認から 2020 年 9 月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、既往歴、内服薬（抗血栓薬）、腫瘍部位、病理診断、内視鏡手術の方法、治療経過 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

市田 正親

湘南鎌倉総合病院・消化器病センター・医長

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

TEL 0467-46-1717 FAX 0467-45-0190

(2020 年 1 月 7 日作成 (第 1.1 版))